

令和 4 年 4 月 / 日

村上市議会議員 様

会派名 新政村上
代表者氏名 長谷川 孝

当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

経理責任者氏名		佐藤重陽
用務名	洋上風力発電 地域振興先進地視察	
実施日時	令和 4 年 3 月 28 日 (月) 午前・後 8 時 00 分 ~ 時 令和 4 年 3 月 29 日 (火) 午前・後 5 時 00 分 ~ 時	
用務先	秋田市 ウェンティ ジャパン 秋田港	
参加議員名	長谷川 孝 佐藤重陽	
全体参加者数	2 名	
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙参照 (政務活動報告書)	
備考		



政務活動報告書

新政村上

長谷川 孝

会派 新政村上
秋田市洋上風力発電にかかわる地域振興策について

日時 令和4年3月28日~29日

視察先 地元企業 ウェンティ・ジャパン
秋田港周辺

◎ウェンティ・ジャパン

再生エネルギーにより秋田県全体が地産地消で賄えるように、そして秋田の風を地域振興に結び付けるため、ウェンティ・ジャパンを先頭に地元企業110社が企業連合を立ち上げ、部品の製造やメンテナンスの会社を中心に地元の企業がまとまることで、大企業と渡り合い地域振興につなげる。

ウェンティ・ジャパンの佐藤裕之社長と面談して感じたことは、新産業の未来を的確に捉えながら三菱商事などの大企業の傘下で仕事をするのではなく、あくまでも地域と共生し、地域振興につなげるため出資をしてもらうが比率の51%はウェンティ・ジャパンが持っていることで秋田県・北都銀行などと次の新産業に向けた確かな戦略も感じ取ることができた。

村上市及び胎内市沖洋上風力発電でも地域振興を地元企業が中心にチャレンジして欲しいが、少し遅すぎる気がしてならない。

選定事業者が決定しない前に、新産業として期待するものを具現化していくには莫大な投資が必要となってくるため、大企業と渡り合える地域共生の仕組みを考えながら、時には共存共栄の中で洋上風力発電事業への期待に応えたい。

◎秋田港周辺

現在、秋田港・能代港で進められている港湾区域での洋上風力発電の現場と背後地の防風林の払い下げ場所に風力発電の建設が進められている。

秋田港は今後の由利本荘市沖などで進められる一般海域での洋上風力発電建設の拠点港となり大いに期待されている。

岩船港がどの位の役割を果たせるのか、未知数のところもありますが部品の交換、メンテナンス会社等は十分期待できることから選定事業者の決定の後、その地域貢献と共生施策による新産業の育成に力を注ぐとともに、今からその計画を進める必要を痛感してきました。